

HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

資産トラッキングソリューション

ビルド番号 : 120



法的制限事項

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

(c) Copyright 2005 Peregrine Systems, Inc.

商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	7
このマニュアルの目的	7
本ガイドの対象読者	7
本マニュアルの使用方法	8
1. 位置づけ	9
当社の事業について	9
HP OpenViewソフトウェアスイートを用いた資産トラッキング	9
2. 資産トラッキングソリューション	11
ガイドツアー	13
AssetCenterの機能	14
インベントリツール	14
データマイグレーションツール	16
AssetCenter資産トラッキングソリューション	17
Get-Resourcesにおける資産トラッキング	28
A. 次のステップ	33
AssetCenterの互換性に関するマトリックス	33
HPが提供する情報	33

図の一覧表

2.1. Enterprise Discoveryインベントリ	15
2.2. Enterprise Discoveryインベントリ	16
2.3. Connect-It - データ転送	17

はじめに

このマニュアルの目的

このマニュアルは次の質問に対する答えを提供することを目的としています。

- 資産トラッキングソリューションとは？
- AssetCenterの主な利点とは？
- AssetCenterの対象ユーザは？
- AssetCenterが提供するソリューションは？
- AssetCenterはどのように動作するのか？

本ガイドの対象読者

本ガイドは資産トラッキングソリューションの概要について学びたいすべてのユーザを対象としています。本ガイドでは次の点を念頭に置いて質問にお答えしています。

- **ダイレクトであること:**本ガイドの利用にあたって、AssetCenterをインストールしたり、使用する必要はありません。
- **理解しやすいこと:**Windowsのインタフェース機能を用いた実務的プレゼンテーション(▶ [資産トラッキングソリューション](#) [献 11])と実践的デモンストラーション(▶ [ガイドツアー](#) [献 13])が収録されています。

特に、AssetCenterの性能評価を行う目的で次のような方々にもお読みいただけます。

- ジャーナリスト
- 業界エキスパート
- コンサルタント

本マニュアルの使用方法

「位置づけ」の章

本章では以下について理解します。

- HPについて
- AssetCenterが提供可能なソリューション

「資産トラッキングソリューション」の章

本章では、さまざまなHP OpenViewアプリケーションのインタフェースと機能から、資産トラッキングソリューションとは何かについて説明します。

この「ガイドツアー」には数多くのスクリーンショットが用いられています。

これらのアプリケーションをインストールする必要はありません。

1 位置づけ

当社の事業について

HPは、お客様の資産とサービス管理において最大の投資効果を達成させることに、これまで20年以上の経験を積んできました。この長期にわたる経験によって、当社製品へのITIL（IT Infrastructure Library）ガイドラインの導入といった、業界ベストプラクティスを築き上げました。



HP OpenViewソフトウェアスイートを用いた資産トラッキング

HP OpenViewソフトウェアは、お客様がそれぞれの分野で直面している問題に対する解決策となるように設計されています。HPの主なソフトウェアはすべて、資産およびサービス管理（AssetCenter、ServiceCenter）、ヘルプデスク（ServiceCenter）またはWebクライアントインタフェース（AssetCenter Web、Get-It）に向けて特化されています。HP OpenViewのインベントリツール（Enterprise

Discovery) およびデータマイグレーションツール (Connect-It) は様々なアプリケーションにわたってカスタマ情報の一貫性を保証します。

2 資産トラッキングソリューション

お客様の経験を共有できるように、HPではお客様が現場で蓄積された経験とHPのベストプラクティスに基づく専門性とを融合させるValuePathと呼ばれる、サービス/サポートプログラムを作成しました。お客様が既存か新規かに関わらず、Value Pathにより、当社ソリューションから最高の付加価値を得ることができます。

資産トラッキングはこのValue Pathプログラムの最初のコンポーネントです。これは他の3つのコンポーネント、つまり、すべてHPOpenViewのソリューションである経費コントロール、プロセスオートメーションおよび資産オプティマイゼーションにリンクされています。

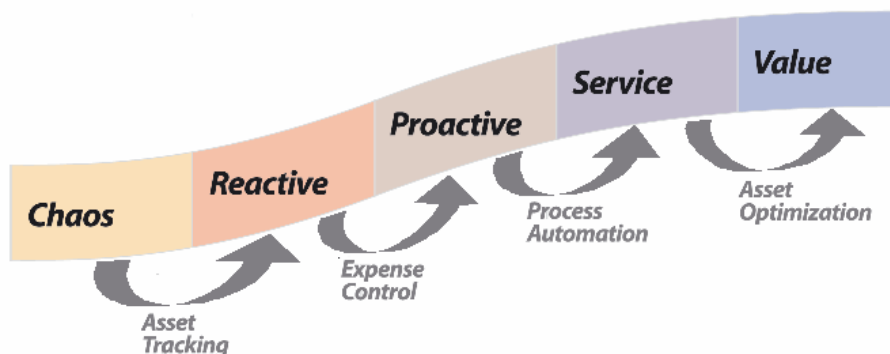
企業レベルでの資産トラッキングとは、「ゆりかごから墓場まで」というライフサイクル全体の資産管理を意味します。キーワードは「管理」です。これは、誰が何をするか、どんな資産があるのか、資産はどこにあるのか、そしてこれに伴う所有コストとは何か、といったことを知ることを意味します。

どんな効率的な管理システムもそれを評価するシステムがなければ成功したことにはならないことを認識することが肝心です。「資産管理」では、この評価システムがIT組織のインフラを形成するビジネスおよび運用プロセスの中にきめ細かく織り込まれています。

AssetCenterなどの資産管理ツールと Enterprise Discoveryなどのネットワーク検索ツールをユーザの事業および運用プロセスに統合すれば、ITポートフォリオを効率的に管理するのに必要なツールがすべて揃います。

ペレグリンは、企業のインフラ内で効率的な資産管理を達成することを目指して、企業が進化する過程を、chaos（カオス）、reactive（リアクティブ）、proactive（プロアクティブ）、service（サービス）ならびにvalue（価値）、という5つのステージに分けて明確化しました。このような成熟したステージを1つ1つ進むた

めには、ITのより広範なコントロールに向けて、スムーズな進化を可能にするプロセスの導入が必要とされます。



今日、ソフトウェア資産管理は、90%の企業にとって切迫した重要課題となっています。IT部署はどのソフトウェアが誰によってどこで使用されるか、その結果どのようなコストが発生するのか、そして特に、使用状況が取得したライセンスに準拠しているのかを知る必要に迫られています。この最初の混乱状態から次のステージに移るためには、資産管理を支援するツールを採用する必要があります（ネットワーク検出、インベントリ、コストトラッキングツールなど）。HPはこのようなニーズにお応えする資産およびサービス管理ソリューションセットを提供します。

資産およびサービストラッキングは、真の資産管理への基本ステップです。資産トラッキングソリューションは、環境を構成するIT機器、構成情報とトラッキング情報、ならびに特定のインストール済みソフトウェアなどを明確にします。この情報は中央のレポジトリに保管され、必要に応じて取得から廃棄までのライフサイクル全体を通して使用されます。このレポジトリ内の情報は他の企業用アプリケーションでも分析したり使用することができます。

資産トラッキングソリューションに含まれるもの:

- 1 資産トラッキング評価レポート。このレポートでは、HPのお客様の環境内の資産トラッキング能力について見直すことができます。このレビューでは次の項目が判断されます。
 - トラッキングの必要な資産およびその関連データ
 - お客様のビジネスおよび運用ターゲットに関連する、導入時の制限
 - お客様のインストール、移動、追加、変更（IMAC=Install、Move、Add、Change）プロセスの有効性。この評価をふまえてAssetCenterの改善および調整のご提案
 - 資産トラッキングの調整目標レベル
 - リアクティブフェーズに進むために必要な次のステップ

- 2 ネットワークコンポーネントに関連付けられたハードウェアとソフトウェアの一意のID情報。
 - 利点: ソフトウェアライセンスのコンプライアンスに必要なベースが得られる。
 - 利点: ハードウェアとソフトウェアおよび障害復旧プランに対する、プラットフォームポリシーの標準化を確立するためのベースが得られる。
 - 利点: ヘルプデスクとテクニカルサポート担当者用のコンピュータの導入状況を正確に把握できる。
- 3 最新ツールによる、ハードウェアおよびソフトウェア自動インベントリの導入。
 - 利点: 資産インベントリのドキュメント変更内容がHP OpenViewの照合更新エンジンを活用して更新可能。これにより、資産情報の正確性と整合性（ユーザID、マシン名、メモリ変更などの資産属性）を確保できる。
 - 利点: 既存の資産環境の現状を深く掘り下げて管理することにより、主要資産のアップグレード、補充、マイグレーションのプランニングと準備がスムーズに行える。
 - 利点: 新規資産の識別を自動化することで、人手のかかるインベントリや資産監査のニーズを削減できる。
- 4 AssetCenter ビューで、資産およびその属性の管理レポートを即座に提供
 - 利点: ハードウェアならびにソフトウェア属性についての資産レポート機能を向上させ、資産や関連リレーションを広く管理、把握することで法を確実に遵守できる。
 - 利点: 管理者が資産環境の分析能力を得ることで、サービスサポートの向上、調達コストの削減、管理リクエストへの対応が可能となる。
- 5 Get-Resources ポートフォリオを使用して、購入依頼を作成可能。
 - 利点: リソース要求を簡素化し、従業員が処理しやすくしたことで日常業務のニーズに対応。ニーズには、ハードウェアやソフトウェアのニーズ、情報の要求、ハードウェアまたはソフトウェア障害時の現場サポートの要求などが含まれる。
 - 利点: 依頼管理機能でワークフローを作成できるため、プロセスの整合性確保、自動化によるコスト削減が可能。
- 6 将来の他のアプリケーションとの統合を可能にし、資産に関する重要情報を他のアプリケーションに渡すためのベースを確立。

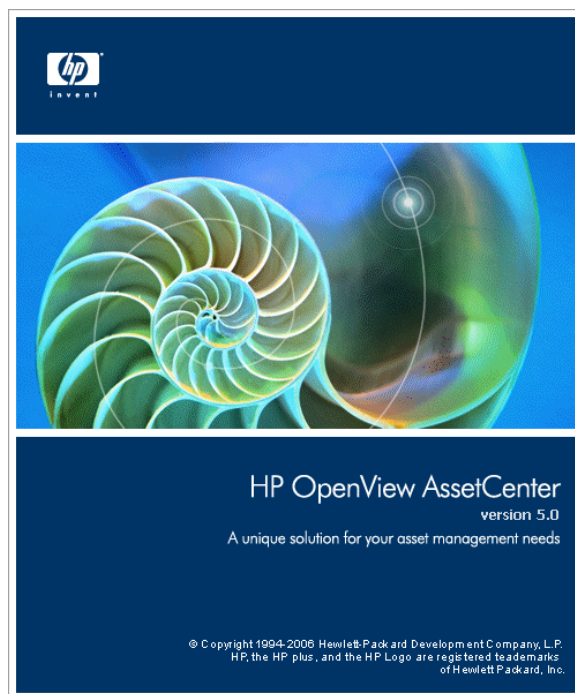
ガイドツアー

本章は、AssetCenter で実際に操作する情報について重点的に説明します。AssetCenterをインストールする必要はありません。スクリーンキャプチャは、Windowsインタフェースに表示されたものです。

ここでは、ご自身が現在ITマネージャで、コンピュータの導入状況とそのメンテナンスコストに関する情報を必要としていると想定してください。

AssetCenterの機能

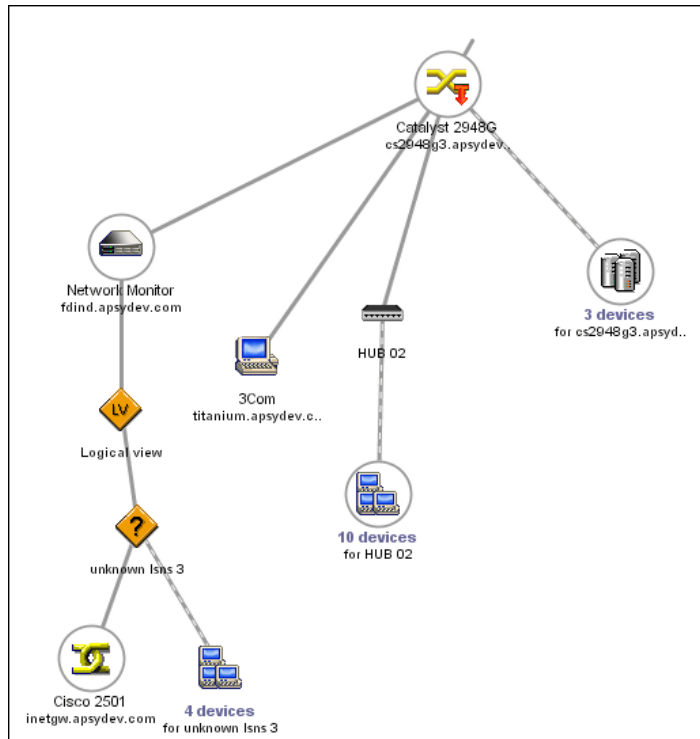
AssetCenterを使用して、資産取得や関連コスト（税金、財産、メンテナンス契約、作業指示など）などの各ポートフォリオ品目のライフサイクルに関連付けられた資産ポートフォリオとイベント全般の管理を行うことができます。



インベントリツール

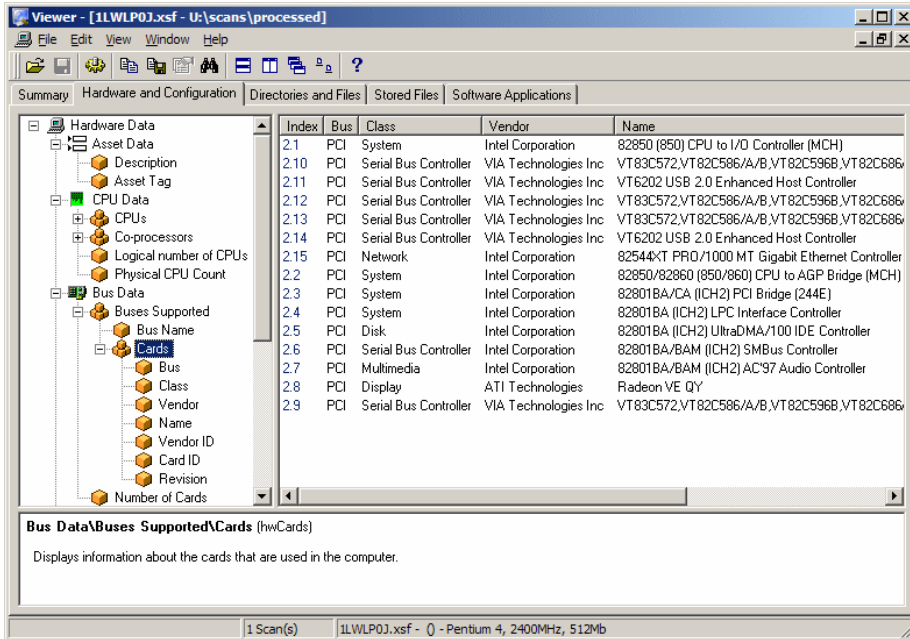
Enterprise Discoveryを使用することで、ITポートフォリオの全体像が得られます。

図 2.1. Enterprise Discovery インベントリ



Enterprise Discoveryで検出された各ポートフォリオ品目が検査され、技術情報が収集されます。

図 2.2. Enterprise Discovery インベントリ



The screenshot shows the HP OpenView Enterprise Discovery tool interface. The left pane displays a tree view of hardware data, with 'Cards' selected under 'Bus Data'. The main pane shows a table of hardware components.

Index	Bus	Class	Vendor	Name
2.1	PCI	System	Intel Corporation	82850 (850) CPU to I/O Controller (MCH)
2.10	PCI	Serial Bus Controller	VIA Technologies Inc	VT83C572.VT82C586/A/B.VT82C596B.VT82C686
2.11	PCI	Serial Bus Controller	VIA Technologies Inc	VT6202 USB 2.0 Enhanced Host Controller
2.12	PCI	Serial Bus Controller	VIA Technologies Inc	VT83C572.VT82C586/A/B.VT82C596B.VT82C686
2.13	PCI	Serial Bus Controller	VIA Technologies Inc	VT83C572.VT82C586/A/B.VT82C596B.VT82C686
2.14	PCI	Serial Bus Controller	VIA Technologies Inc	VT6202 USB 2.0 Enhanced Host Controller
2.15	PCI	Network	Intel Corporation	82544KT PRD/1000 MT Gigabit Ethernet Controller
2.2	PCI	System	Intel Corporation	82850/82860 (850/860) CPU to AGP Bridge (MCH)
2.3	PCI	System	Intel Corporation	82801BA/CA (ICH2) PCI Bridge (244E)
2.4	PCI	System	Intel Corporation	82801BA (ICH2) LPC Interface Controller
2.5	PCI	Disk	Intel Corporation	82801BA (ICH2) UltraDMA/100 IDE Controller
2.6	PCI	Serial Bus Controller	Intel Corporation	82801BA/BAM (ICH2) SMBus Controller
2.7	PCI	Multimedia	Intel Corporation	82801BA/BAM (ICH2) AC'97 Audio Controller
2.8	PCI	Display	ATI Technologies	Radeon VE QY
2.9	PCI	Serial Bus Controller	VIA Technologies Inc	VT83C572.VT82C586/A/B.VT82C596B.VT82C686

Below the table, the status bar indicates: 1 Scan(s) | 1LWLP0J.xsf - 0 - Pentium 4, 2400MHz, 512Mb

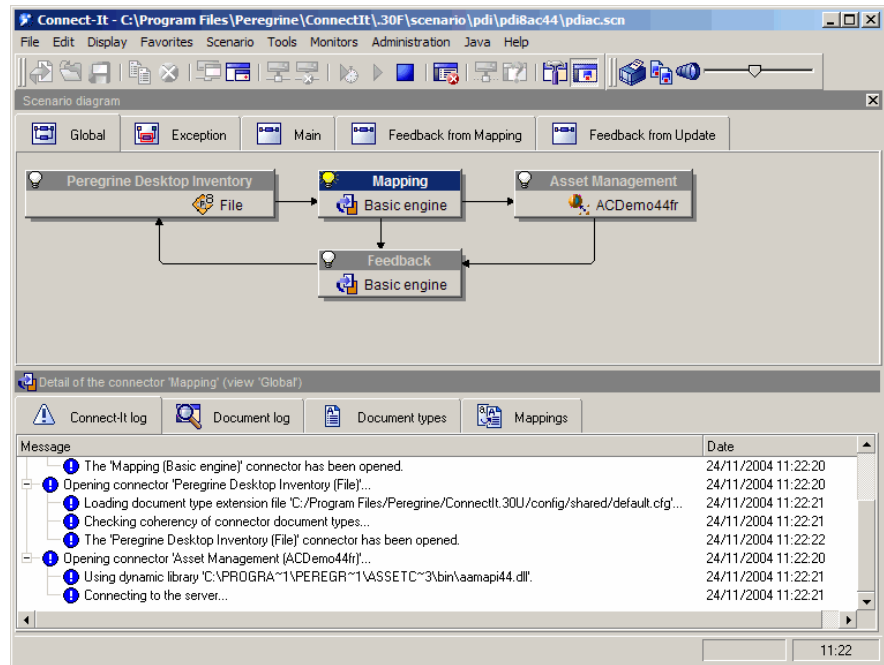
HP OpenViewのインベントリツールによって収集された情報は、次にConnect-It経由でAssetCenter本番データベースに転送されます。

▶ マニュアル 『Enterprise Discovery』

データマイグレーションツール

Connect-Itを使えば2つのアプリケーション間のデータ転送が可能です。Connect-Itはソースアプリケーションデータベースに対してクエリを実行し、ターゲットデータベースで解釈可能なデータを抽出します。

図 2.3. Connect-It - データ転送



Connect-ItはAssetCenterプログラムに同梱されており、次のような機能を提供します。

- Network DiscoveryおよびAssetCenterなど、2つのアプリケーションが共有するデータのリアルタイムの複製
- レガシーなデータベースからAssetCenterデータベースへのデータマイグレーション
- ▶ 『Connect-Itユーザガイド』
- ▶ AssetCenter 照合更新ガイド。

AssetCenter資産トラッキングソリューション

資産トラッキングおよび資産管理には次のモジュールが使用されます。

- バーコードインベントリ
- ポートフォリオ
- 照合更新
- 契約

- ソフトウェア資産管理

ポートフォリオトラッキングの調整

資産の物理的およびITインベントリを行う前に、目的とする資産管理の詳細レベルについて考える必要があります。

現在のポートフォリオ構造はAssetCenterデータモデルを考慮に入れる必要があります。管理者の役割は、ポートフォリオが管理されている現状を最もよく反映する属性とモデルを定義することです。

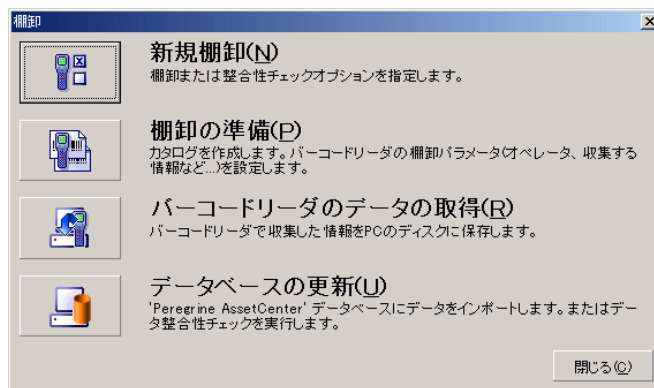
- ▶ 『ポートフォリオおよびソフトウェアライセンス』ガイドの「概要」の章

バーコードによる棚卸

AssetCenterによる資産およびサービス管理はまず、会社の全資産の物理的インベントリから開始します。

バーコードによる棚卸モジュールは次の目的に使用されます。

- AssetCenterデータベース構築のため、会社の資産を短時間で正確に収集。
- 各会社の資産を識別し、在庫の変更をトラッキングする。これにより、資産の移動、取得、紛失、盗難などを容易に検出することが可能になります。

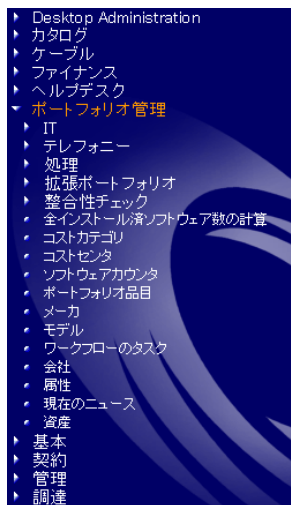


管理者は、あらかじめ設定されたリーダで棚卸する各資産を記録し、データをAssetCenterに転送します。インベントリに関連するデータはポートフォリオ画面に表示されます。

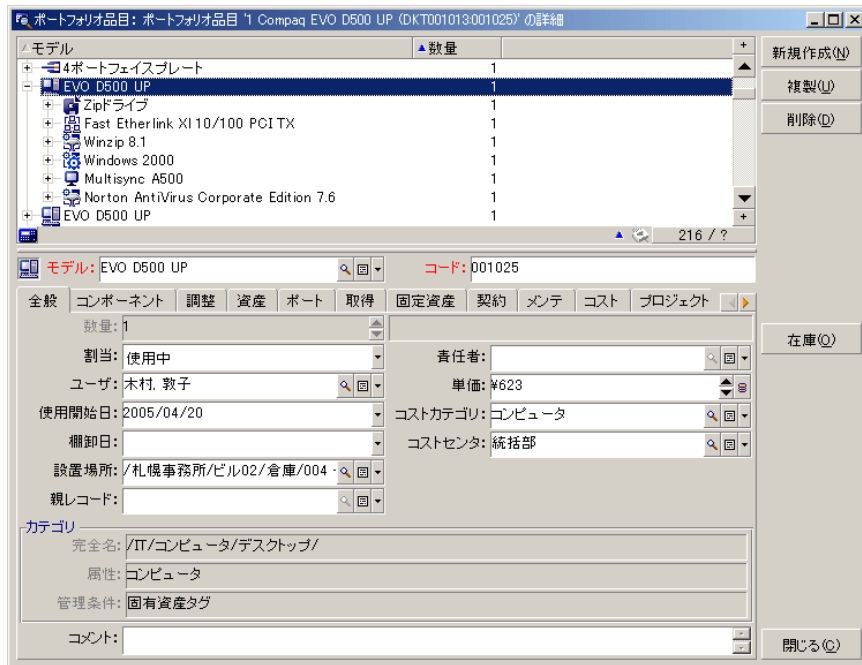
- ▶ 『バーコードによる棚卸』ガイド

ポートフォリオ

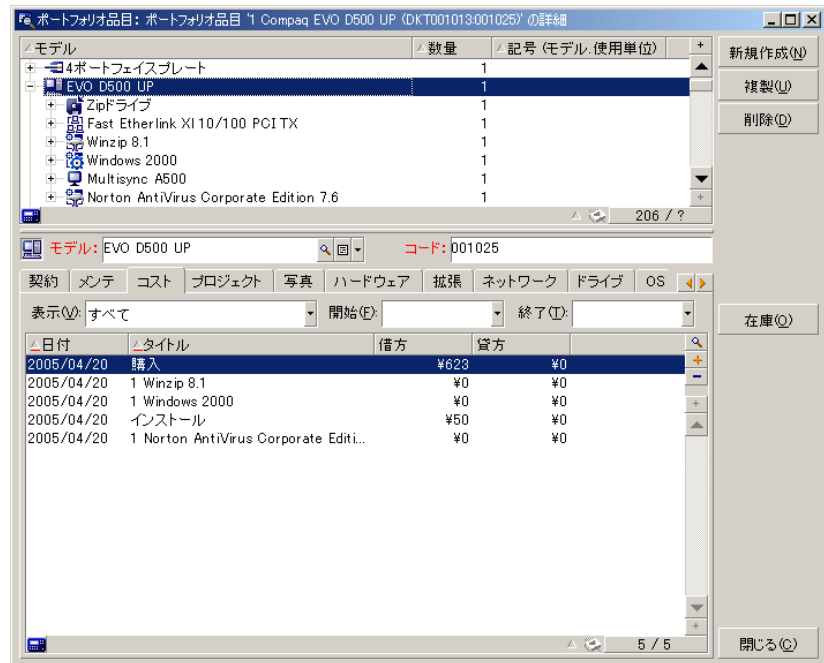
管理者は、[ポートフォリオ管理] ショートカットからポートフォリオにアクセスします。



ITポートフォリオ内の全資産は [ポートフォリオ品目] 画面で確認することができます。



マウスを1回クリックするだけで、ITポートフォリオのあらゆる品目に関する情報にアクセスできます。



選択したポートフォリオ品目について、すべての情報と依存関係を確認できます。

- この品目の付属品目: 周辺機器とソフトウェア
- この品目の「テクニカルな」任意管理項目: メモリ、CPU、ドライブなど
- 資産の識別: 資産タグ、バーコードなど
- 取得コスト
- 固定費
- 資産にリンクされた契約: リース契約、メンテナンス、保証延長など

階層

定義した資産管理システムの調整レベルに応じて、品目をより詳しく管理することも、大まかに管理することもできます。この調整レベルは、ポートフォリオを構成する品目の階層を定義します。



この調整は [部署または従業員] の例で確認できます。

性別	部署名/姓	名前	役職	電話番号	ファックス
	Admin			011-5536-6000	011-5572-9099
	Demo			011-5536-6000	011-5572-9099
	Taltek			011-5536-6000	045-345-9801
	ファイナンス			045-345-9800	045-345-9801
	運用			011-5572-9000	011-5572-9099
	営業課			045-345-9809	045-345-9801
	マーケティング部長			045-345-9812	045-345-9801
	横浜出張所			045-345-9822	045-345-9801
	大阪事務所			06-5422-5601	06-5537-6000
	管理			011-5572-9000	011-5572-9099
	金田	雅美	交換室主任	011-5572-9000	011-5572-9099
	本多	京介	施設保全課長	011-5572-9000	011-5572-9099

▶ 『ポートフォリオとソフトウェアライセンス』ガイド

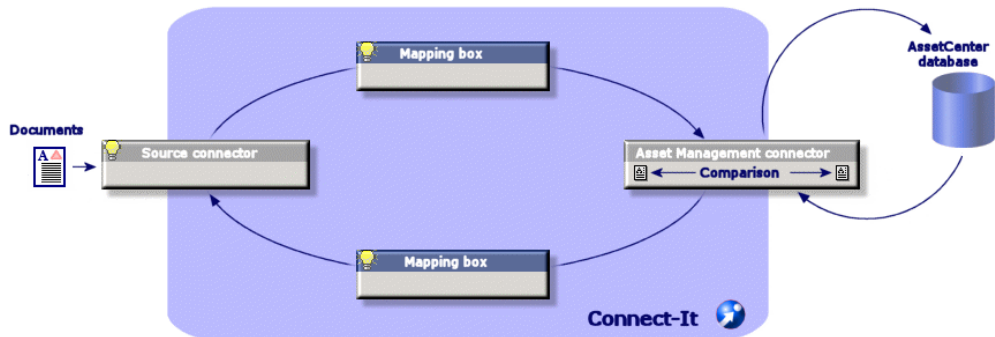
照合更新

データの照合更新はConnect-Itを使用して行います。

「照合更新」とは、ターゲットアプリケーションの既存データより新しいとみなされたソースアプリケーションからの入力データをデータベースに統合するプロセスを意味します。

このプロセスのベースとなるのは、「入力データがターゲットアプリケーションに既に存在しているかどうか」です。

- 答えが「いいえ」の場合、データはそのまま挿入されます。
- 答えが「はい」の場合、既存データは入力データの新しい情報にしたがって更新されます。

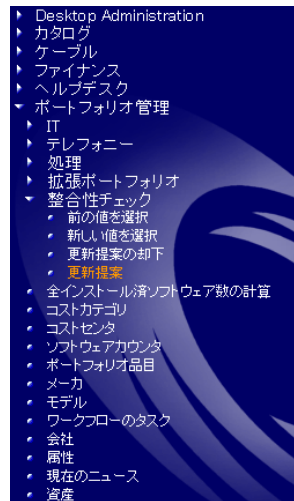


運用サイクルに正しく組み込まれると、照合更新機能はユーザには見えないところで動作し、ユーザはAssetCenterで常に最新データを処理することが可能になります。

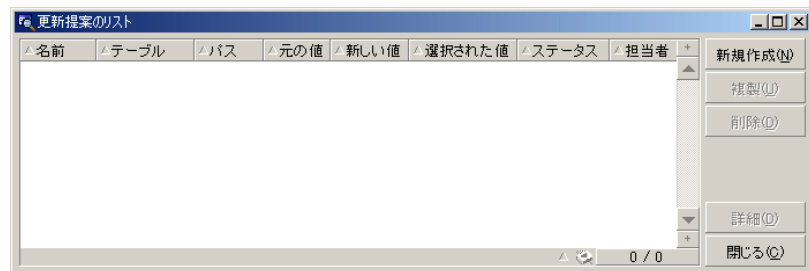
照合更新により、インスタンスを常に最新の状態に保つことができます。

- 設置済みのマシンリスト (Network Discoveryインテグレーション)
- 従業員の場所 (SAPインテグレーション)
- インシデントリスト (ServiceCenterインテグレーション)

管理者は、[ポートフォリオ管理 / 照合更新 / 照合更新提案]ショートカットから更新対象の品目にアクセスします。



照合更新対象の項目は [照合更新提案] 画面に表示されます。



管理者は、リスト内の各品目に対する照合更新提案を承認または却下するかどうかを選択します。

- ▶ 『照合更新』ガイド

ビュー

各AssetCenterユーザは、自分の仕事に直接必要な項目だけを表示するようにアプリケーションを設定することができます。例えば、IT部署の従業員なら在庫内のポートフォリオ品目だけを表示するビューを作成できます。

- ▶ 『カスタマイズ』ガイドの「ビューの使用方法」の章

契約

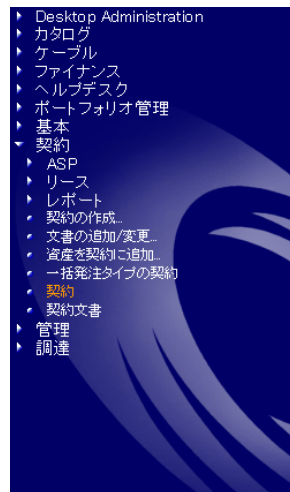
会社資産はしばしば契約とリンクされます。

契約モジュールを使えば、リース、ライセンス、メンテナンス、保証または保険契約など、あらゆる種類の契約を管理することができます。

次のような種類の契約が管理対象です。

- マスターリース
- リース明細
- 保険契約
- ライセンス契約
- 一括発注タイプの契約
- その他

管理者は、[契約] ショートカットから契約モジュールにアクセスします。



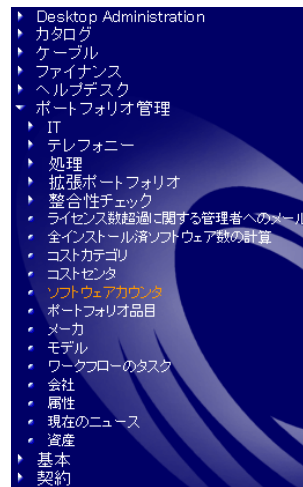
契約上のすべての資産は、契約の詳細の資産タブで表示されます。

▶ 『契約』ガイド

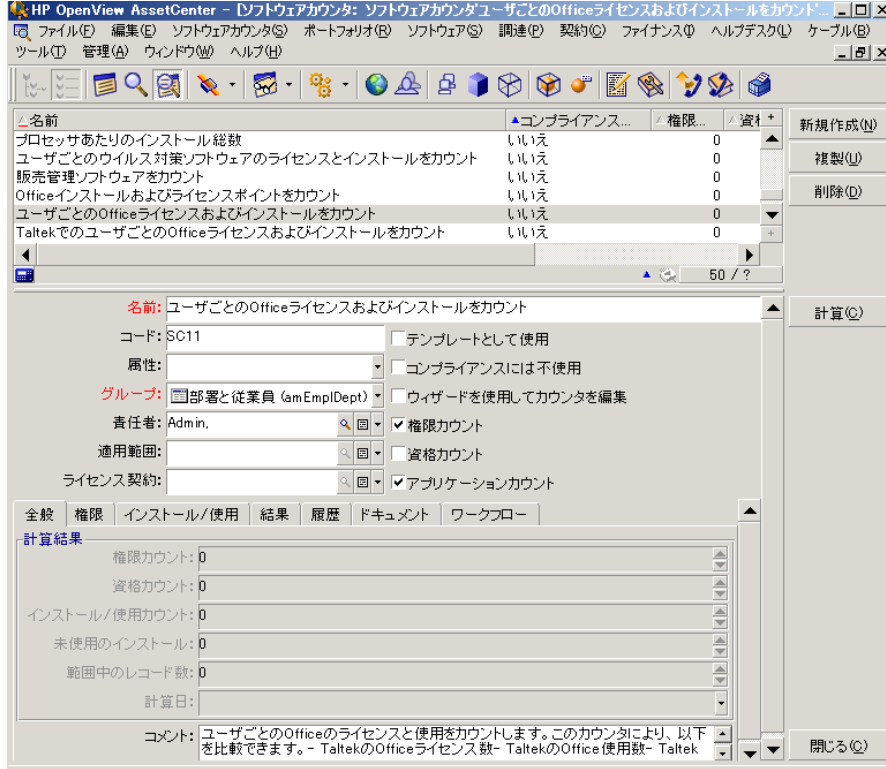
ソフトウェア資産管理

AssetCenterに付属のウィザードを使用することで、管理者はある時刻に、会社のコンピュータにどんなソフトウェアがどのようにインストールされているかを把握し、このライセンス情報と照合することができます。

管理者は、[ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアカウンタ] ショートカットからカウンタにアクセスします。



AssetCenterはソフトウェアカウンタリストと計算結果を表示します。



▶ 『ポートフォリオおよびソフトウェアライセンス』ガイドの「ソフトウェア」の章

Get-Resourcesにおける資産トラッキング

Get-Resourcesは資産とサービスに関する依頼プロセスを簡略化し、従業員が自分の依頼をトラッキングすることができます。さらに、Get-Resourcesは企業全体の予算と申請承認面でのプロセスを自動化することができます。

Webインターフェース

Webアクセスを求めるユーザに対して、管理者は以下の項目を設定します。

- 識別子とパスワード

- アクセスを許可する画面
- 実行を許可する操作

以上が確認され次第、ユーザはシンプルで直感的であり、またカスタマイズ可能なインタフェースにアクセスできます。

各購入依頼はAssetCenter調達モジュールに転送され、承認ワークフローへと組み込まれます。

▶ 『Get-Resources Tailoring』ガイド

依頼管理

従業員は誰でも購入依頼を提出することができます。

The screenshot shows the Peregrine Portal interface. At the top, there's a header with the logo and user information. Below that is a navigation bar with tabs for Home, Administration, Request, and Procurement. The main content area is titled 'Select an item to add to the cart'. On the left, there's a sidebar with a tree view containing 'Create a Request' (with sub-items: Create a new request, My saved requests in progress, My submitted requests, My requests history) and 'Approve Requests' (with sub-items: Show Approval List, Delegate all Approvals). The main area contains a search bar, a note about using arrows to deselect items, and a table of products. The table has columns for 'Select', 'Product/Description', 'Price', and 'Action'. The products listed are: Executive Desktop (\$2,719.00), Assistant Desktop (\$1,258.00), Sales Laptop (\$2,758.00), and Developer Desktop (\$3,819.00). Each row has an 'Add' and 'Configure' button. At the bottom of the table, there's an 'Add Selected' button and links to 'To Catalog Start' and 'To Request Summary'.

Select	Product/Description	Price	Action
<input type="checkbox"/>	Executive Desktop PC Intel Pentium III 500Mhz 256MB RAM 9.1GB HD	\$2,719.00	Add Configure
<input type="checkbox"/>	Assistant Desktop PC Intel Pentium III 450Mhz 64MB RAM 4.2GB HD	\$1,258.00	Add Configure
<input type="checkbox"/>	Sales Laptop Laptop Intel Pentium II 300Mhz 32MB RAM 4.2GB HD	\$2,758.00	Add Configure
<input type="checkbox"/>	Developer Desktop PC Intel Pentium III 550Mhz 512MB RAM 13.5GB HD	\$3,819.00	Add Configure

提出された依頼は承認プロセスへと送られ、依頼者はいつでもこれを閲覧することができます。

Request Status Pending Approvals Approval Log [To Catalog Start](#)

What is this for and when would you like it?
Purpose: New PC for development testing
Date: 12/25/02
Time: 0:00

Who is it for?
End User: Tossi
First Name: Michaela
Phone:

What is the final destination?
Destination: ACME HQ
Address 1: 5543 Windy Way
City: Chicago

Payment and approval information
Cost Center:
Project:
Signature Required:

Other information
Comment:
Attachments:

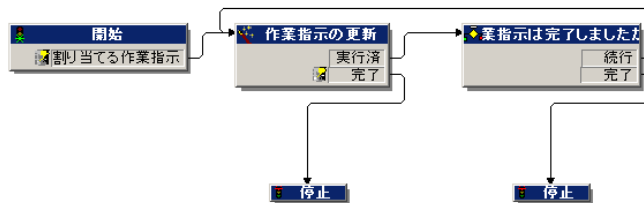
Quantity	Product/Description	Price
1	Compaq Desktop computer w/ PIII500;124MB;13GIG	\$1,100.00

一般に、承認プロセスはAssetCenterで作成したワークフローで定義します。

▶ 『Get-Resources Administration』 ガイド

ワークフロー

AssetCenterでは承認プロセスを自動化し、業務プロセスを標準化するためのワークフローを作成できます。

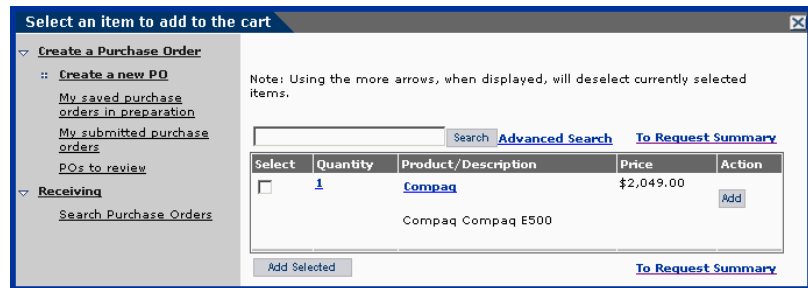


ワークフローの定義は管理者が行い、Get-Resourcesインタフェースでは次のことが行えます。

- 依頼の送信
 - ステータスの定義（承認待ち、承認済、却下）
 - 依頼の承認
 - 発注の自動作成
- ▶ AssetCenter 『AssetCenterの高度な使い方』ガイドの「ワークフロー」の章

発注管理

購買許可を得たユーザは依頼品目の発注書を生成することができます。



発注書が作成されると、発注品目を受け取るまで承認ワークフローに組み込まれ、次にポートフォリオへと組み込まれます。

- ▶ 『Get-Resources Administration』ガイド

A 次のステップ

次の方法を用いれば、AssetCenterに関するさらに多くの情報が得られます。

AssetCenterの互換性に関するマトリックス

サポートされている環境については、HPサポートサイト www.hp.com/managementsoftware/peregrine_support をご覧ください。

識別子とパスワードについては、HPまでお問い合わせください。

サポートサイトにログオンした後、[**Product Information / Asset Management / AssetCenter / Compatibility Matrices**] の順にクリックして、互換性一覧をご覧ください。

HPが提供する情報

HPのWebサイトには多種多様な情報が掲載されています。

特に、製品ドキュメント、ホワイトペーパー、デモ用ソフトウェア、お客様レポートなどがご覧になれます。

Webサイトのアドレスは<http://h20229.www2.hp.com/index.html>です。

